

# IIAS NEWSLETTER

International Institute for Advanced Studies

December 2006

# 51

 財団法人  
国際高等研究所

<http://www.iias.or.jp>

index

報告	第2回企画委員会開催 (2006年10月20日、21日)
	2006年度フェロー懇談会開催 (2006年10月21日)
	2007 (平成19) 年度科学研究費補助金 (特定奨励費) 事業計画調書の提出
	志水隆一フェローを上級研究員に委嘱
	京都銀行協賛の公開講演会を開催 (10月28日)
	高等研選書 岩倉具視—『国家』と『家族』—を刊行
	京都大学文学研究科共催の公開講演会を開催 (11月11日)

案内	京都銀行協賛による公開講演会開催 (2007年2月24日)
褒章関連	2006年文化功労者顕彰 松原謙一先生
訃報	米花 稔先生のご逝去

- IIASカレンダー ●研究活動 (2006年12月1日～2007年3月31日)  
●公開講演会 (2007年2月24日)
- お知らせ ●消防訓練の実施  
●総務部臼井三粧主任の退職

報告

## 研究活動報告 (2006年10月1日～11月30日)

研究プロジェクトのタイトル	研究会等の開催日	研究代表者	参加者数
共同研究の法モデル・産学連携の知的財産法モデル (合同)	10月6日 (金)	北川善太郎	3
スキルと組織	10月7日 (土)	榎木 哲夫	12
分化全能性～普遍性と特異性～ (シンポジウム「植物と動物における分化全能性～制御機構の普遍性と多様性～」)	10月7日 (土)	原田 宏	54
ダイナミクスからみた生命的システムの進化と意義	10月11日 (水)、12日 (木)	津田 一郎	22
産学連携の知的財産法モデル	10月13日 (金)	北川善太郎	21
産学連携製造中核人材育成プロジェクト	10月13日 (金)、14日 (土)	藤本 公三	30
女性研究者と科学の未来	10月14日 (土)	伊藤 厚子	20
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル (合同)	10月14日 (土)	北川善太郎	3
電子系の新しい機能 (幹事会)	10月16日 (月)	新庄 輝也	9
企画委員会 (第2回)	10月20日 (金)、21日 (土)	金森順次郎	23
産学連携製造中核人材育成プロジェクト	10月23日 (月)、24日 (火)	藤本 公三	33
IIASフェロー研究会「非平衡複雑多体系のダイナミクスと統計」	10月24日 (火)～26日 (木)	川崎 恭治	15
電子系の新しい機能	10月27日 (金)、28日 (土)	新庄 輝也	48
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル (合同)	10月27日 (金)	北川善太郎	4

研究プロジェクトのタイトル	研究会等の開催日	研究代表者	参加者数
文化財保全技術	11月9日(木)	志水 隆一	26
多元的世界観の共存とその条件～閉ざされた世界から開かれた世界へ～	11月10日(金)、11日(土)	石川 文康	9
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	11月10日(金)	北川善太郎	4
産学連携製造中核人材育成プロジェクト	11月17日(金)、18日(土)	藤本 公三	28
学習の生物学	11月17日(金)、18日(土)	星 元紀	9
グローバル化と市民社会	11月17日(金)、18日(土)	仁科 一彦	7
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	11月17日(金)	北川善太郎	4
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	11月18日(土)	北川善太郎	4
スキルの科学(フォローアップ研究)	11月18日(土)	岩田 一明	9
芸術と社会～芸術表現における伝統と革新の問題～	11月25日(土)	佐々木正子	7
産学連携の知的財産法モデル	11月25日(土)	北川善太郎	23
量子情報の数理(フォローアップ研究)	11月25日(土)	大矢 雅則	8

## ●公開講演会

講演テーマ	開催日	講師	参加者数
西夏文字の世界	10月28日(土)	西田 龍雄	110
地図が語る声を聞く～あらたなる中国像と世界像～	11月11日(土)	李 孝聡・杉山 正明	70

## 報告

### 第2回企画委員会開催(2006年10月20日、21日)

2006年度第2回企画委員会が、企画委員、上級研究員、特別委員、フェロー等23名が出席して10月20日(金)、21日(土)に開催されました。

委員会では、金森順次郎所長から本年度の研究事業の進捗状況及び来年度の研究事業計画の概要について報告があり、意見交換が行われました。続いて、佐藤矩行企画委員による「遺伝子およびゲノムから見た脊索動物の進化」、亀本洋企画委員による「法的思考について」の話題提供があり、これらについて活発な質疑応答が行われました。



## 報告

### 2006年度フェロー懇談会開催(2006年10月21日)

2006年度第1回フェロー懇談会が10月21日(土)に開催されました。懇談会は、今年度フェロー10名のうち5名の研究者が参加し、所長、副所長等と研究活動や研究所の運営などについて意見交換が行われました。



## 報告

### 2007(平成19)年度科学研究費補助金(特定奨励費)事業計画調書の提出

2007年度科学研究費補助金(特定奨励費)の事業計画調書を11月15日文部科学省に提出しました。2007年度は3年計画の2年目で、申請額は本年度交付額と同額の3,900万円としました。

## 報告

### 志水隆一フェローを上級研究員に委嘱

志水隆一フェロー(大阪工業大学情報科学部教授、大阪大学名誉教授)に、フェローに代えて上級研究員を委嘱しました。委嘱期間は2006年12月1日～2010年3月31日。志水上級研究員は、特別研究「文化財保全技術」の研究代表者をお務めいただいているほか、高等研の複数の研究プロジェクトに参加研究者として参画されています。



## 報告

### 京都銀行協賛の公開講演会を開催(10月28日)

10月28日(土)に京都銀行の協賛による今年度2回目の公開講演会を開催しました。

西田龍雄京都大学名誉教授・日本学士院会員を講師にお招きした演題「西夏文字の世界」に、110名の方々が熱心に聴講されました。西夏文字は、11世紀から13世紀に中国西北地域に存在した西夏国が創り出した独自の文字で、西田教授のこれまでの研究成果を具体的な事例を上げて紹介されました。



## 高等研選書 岩倉具視—『国家』と『家族』—を刊行

10月31日(火)に、「高等研選書21 岩倉具視—『国家』と『家族』—米欧巡回中の『メモ帳』とその後の家族の歴史」(著者:岩倉具忠京都大学名誉教授・京都外国語大学教授)を刊行しました。

2002年6月の公開講演会「岩倉具視のメモ帳から—欧米事情あれこれ—」の講師岩倉具忠先生が、この講演を基に選書としてまとめられたものです。

本書は具視のご子孫である具忠氏が、具視が1871—1873年にかけて明治政府の使節団として米欧を訪れた際に携帯した「メモ帳」と家族経営(岩倉家範)を基に、同氏から見た岩倉具視像とその家族像が描かれ、歴史的に価値の高いメモ帳などの資料や写真が掲載されています。

12月8日付け日本経済新聞文化面に著者の出版の意図が述べられています。

・お申し込みはURL <http://www.copymart.co.jp/S21>もしくはFAX075-315-9368まで。

・価格は1,100円(税別) ・サイズ/頁数はB5縦書き・183頁



## 京都大学文学研究科共催の公開講演会を開催(11月11日)

11月11日(土)に京都大学文学研究科共催の公開講演会「地図が語る声を聞く～あらたなる中国像と世界像をもとめて～」を開催しました。

李 孝聡高等研フェロー・北京大学歴史系教授による「多元のまなざしで描く中国歴史空間」と杉山正明高等研企画委員・京都大学文学研究科教授による「世界を変えたモンゴル時代～東西の地図が語る新地平～」の2つの講演には、70名の方が熱心に聴講されました。中国及びモンゴルの貴重な古地図と映像写真を多用された興味深い講演でした。



## 京都銀行協賛による公開講演会開催 (高等研ホームページをご参照ください)

今年度第4回高等研公開講演会を次のとおり開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

- ・演題: 植物の生存戦略～植物の生き方を探り、人間生活に活かす～
- ・講師: 鎌田 博・筑波大学遺伝子実験センター教授
- ・日時: 2007年2月24日(土) 14時～16時
- ・場所: 高等研レクチャーホール
- ・対象: 高校生以上
- ・聴講: 無料



### ●講演要旨

地面に根を張り、土壌から吸収した水分・養分と、大気中の二酸化炭素をもとに、太陽エネルギーを使って生物の生存に必要なさまざまな物質を合成する植物は、動物とは大きく異なり、移動できないという大きな制約を受ける。また、植物の個々の細胞は、セルロースを主成分とする細胞壁(固い殻)で囲われており、細胞が分裂・増殖して葉、茎、根、花などの器官を作りあげて植物個体として成長する際に大きな制約を受ける。

このような制約にもかかわらず、植物はその成育環境の多様な変動や昆虫・カビなどのさまざまな外敵に適切に対応して生存するための優れた仕組みを有し、環境に高度に適応できる動的な生存戦略を持っている。人類はこのような植物を改良し、衣食住の原料あるいは生活を潤す観賞用生物としてうまく活用してきた。人類が21世紀を生き抜くためには、植物をもっと知り、さらに有効に活用することが必須である。植物の生存戦略と植物を有効に活用する方策について分かりやすく紹介する。

## 2006年文化功労者顕彰 松原謙一先生

松原謙一先生(前高等研副所長・大阪大学名誉教授)が文化功労者の顕彰を受けられました。

松原先生は、1996年12月1日から2001年3月31日まで副所長として高等研及び学術研究の発展のためにご尽力いただきました。心よりご祝辞を申し上げます。



## 米花 稔先生のご逝去

高等研の元副理事長の米花稔先生(神戸大学名誉教授)が10月3日、ご逝去されました。副理事長退任後も顧問をお務めいただいております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

●研究活動(2006年12月1日～2007年3月31日)

開催予定日	研究プロジェクトのタイトル	研究代表者
12月1日(金)	共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	北川善太郎
12月8日(金)	産学連携の知的財産法モデル	北川善太郎
12月9日(土)	学術フォーラム「細胞内共生～生物界における共生と支配～」	岡田 益吉・小林 悟
12月15日(金)	産学連携の知的財産法モデル	北川善太郎
12月16日(土)	スキルと組織	榎木 哲夫
12月16日(土)	隙間一自然、人間、社会の現象学	鳥海 光弘
12月16日(土)	シンポジウム「宇宙問題への人文・社会科学からのアプローチ」	木下 富雄
12月16日(土)	スキルの科学(フォローアップ研究)	岩田 一明
12月19日(火)	芸術と社会～芸術表現における伝統と革新の問題～	佐々木正子
12月21日(木)、22日(金)	多元的世界観の共存とその条件一閉ざされた世界から開かれた世界へ	石川 文康
12月22日(金)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
12月26日(火)、27日(水)	19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究	吉田 忠
12月27日(水)、28日(木)	進化と文法	藤村 靖・中島 泉
1月9日(火)、10日(水)	高度計測技術の発展と埋没	本河 光博
1月12日(金)	文化財保全技術	志水 隆一
1月12日(金)、13日(土)	学習の生物学	星 元紀
1月13日(土)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
1月13日(土)	開発途上国と日本人長期政策アドバイザー(フォローアップ研究)	橋本日出男
1月27日(土)	スキルと組織	榎木 哲夫
11月25日(土)	量子情報の数理(フォローアップ研究)	大矢 雅則
3月6日(火)～10日(土)	第10回コンピュータショナル・マテリアルズ・デザイン(CMD) ワークショップ	赤井 久純
3月9日(金)、10日(土)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
3月17日(土)	スキルと組織	榎木 哲夫
3月23日(金)、24日(土)	コア・エグゼクティブと幹部公務員制度の研究	村松 岐夫

●公開講演会

開催日	講演テーマ	講師
2月24日(土)	植物の生存戦略～植物の生き方を探り、人間生活に活かす～	鎌田 博

お知らせ

消防訓練の実施

12月5日に事務局が消防訓練を実施しました。相楽中部消防組合消防本部の立会いのもと、「研究室から出火、負傷者あり」との想定で、通報・避難・消火の訓練の後、消火器の扱いを実習訓練しました。

広い敷地・建物の中で、避難集合同所などを特定する場合の指示の仕方などのご指導を受けました。今後とも高等研の安全の確保に努めたいと考えております。

総務部臼井三粧主任の退職

総務部の臼井三粧主任が10月31日に退職しました。臼井主任は1997年から約10年間、総務部、研究支援部職員として勤務し、特にお茶会の実施に貢献しました。



編集・発行者

財団法人 国際高等研究所

〒619-0225 京都府相楽郡木津町木津川台9丁目3番地

TEL : 0774-73-4001 FAX : 0774-73-4005

E-mail : editor@iias.or.jp

http://www.iias.or.jp